

平成19年度当初予算が上程されました

平成19年度の当初予算ってどうなってるの？



三月定例市議会に平成19年度当初予算が上程されました。一般会計予算は、八七九億九三二六万円(前年度当初比9.9%減)で、四月に市長選が行われるため、継続的な事業や生活関連事業の一部などを計上した骨格予算となっております。

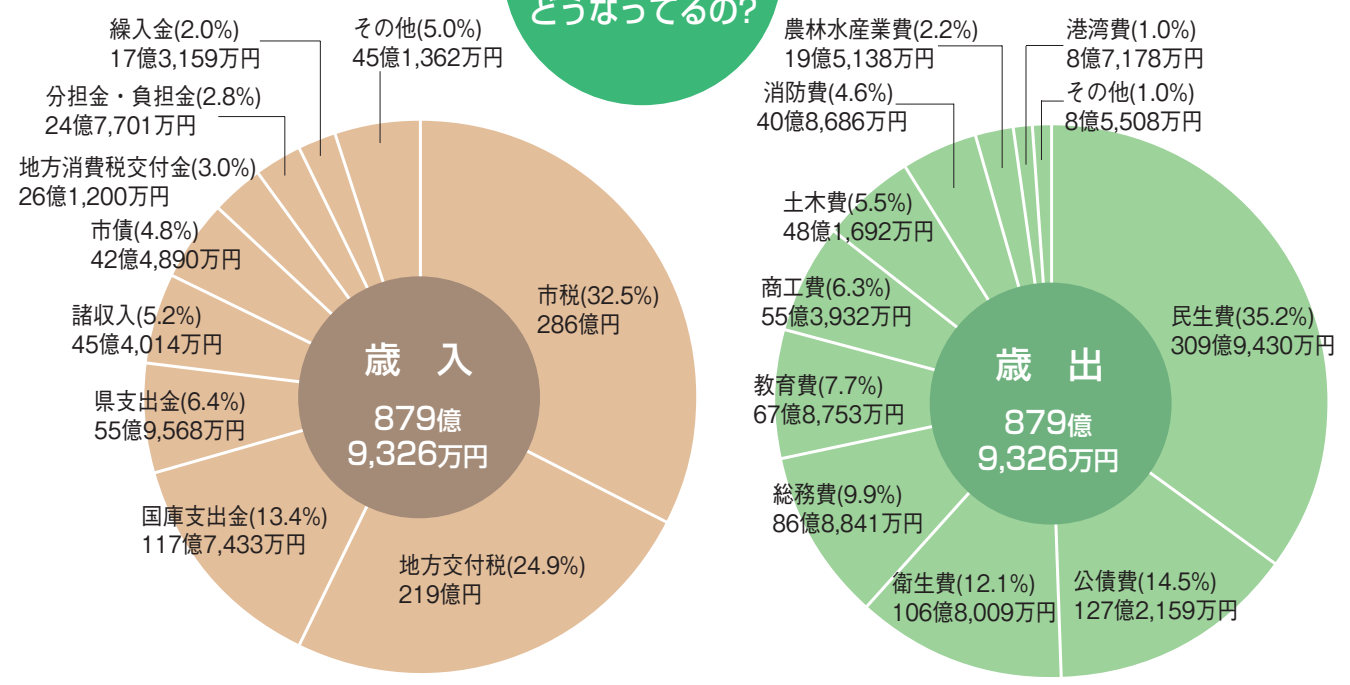
国民健康保険事業など特別会計予算は九一六億一八六三万円(同1.3%増)、水道や交通などの企業会計予算は、三三四億六二七五万円(同1.1%増)を計上しています。

歳出については、生活保護費や保育所運営費などの民生費が最多で三〇九億九四三〇万円(同1.5%増)、次いで公債費一二七億二一五九万円(同5.2%増)、衛生費一〇六億八〇〇九万円(同8.3%減)となっております。

一般会計の歳入は、税源移譲や定率減税の廃止など国の税制改正の影響などで、市税を二八六億円(同8.9%増)と見込んでいますが、地方譲与税の減少や地方税収入の伸び悩みな

予算編成にあたっては、後年度に負担を残さない形で歳入を確保し、その歳入規模に見合った歳出規模とすることを基本として、行政評価を活用した事務事業の見直し(四億六六〇〇万円)や、市のホームページなどへの有料広告(二二三〇万円)などで財源を捻出しましたが、単年度収支で約十七億円が不足し、この分は基金から補てんすることになっています。

一般会計予算の内訳ってどうなってるの？



※グラフ中の数値は、それぞれ四捨五入しているため、計とは一致しない場合があります。

会計別予算の内容		
会計別	予算額(千円)	前年度比(%)
一般会計	87,993,258	△9.9
住宅事業	2,331,047	△10.7
国民健康保険事業	29,392,351	14.1
競輪事業	12,088,481	2.0
卸売市場事業	1,368,267	△62.4
災害共済事業	39,927	△4.5
土地区画整理事業	0	皆減
老人保健医療事業	27,878,806	△0.5
地域交通体系整備事業	81,463	11,932.9
土地取得事業	73,144	△77.5
介護保険事業	18,258,657	1.3
交通船事業	55,824	1.0
集落排水事業	50,664	10.0
小計	91,618,631	1.3
水道事業	9,421,968	△3.2
下水道事業	8,257,717	8.8
交通事業	2,211,905	△11.9
総合病院事業	13,571,158	2.3
小計	33,462,748	1.1
合計	213,074,637	△3.7

歳入項目の用語解説	
市税	市民や企業が市に納める税金
地方交付税	国が市に交付する使い道が自由なお金
国庫支出金	国が市に交付する使い道が決められているお金
県支出金	県が市に交付する使い道が決められているお金
諸収入	貸付金収入や預金利子など他の項目に含まれないお金
市債	市が国や銀行などから借り入れるお金
歳出項目の用語解説	
民生費	高齢者、障害者、児童福祉など福祉全般の費用
公債費	市が事業のため借り入れたお金の返済金
衛生費	病気予防、ごみ処理、環境保全など衛生全般の費用
総務費	職員、財産管理、選挙、戸籍・住民票などの費用
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの費用
商工費	商工業・観光の振興などの費用
土木費	公園や道路、河川整備などの費用
消防費	火災の予防・消火、救急救助などの費用
農林水産業費	農業・畜産業・林業・水産業振興などの費用
港湾費	港湾管理、港湾建設などの費用

させぼさんちの家計簿を作ってみました

本市の平成19年度予算(一般会計)を月収42万円(年収500万円)の家計に例えて家計簿を作ってみました。

させぼさんちの収入は、自分で稼げるお金(給料、パート収入)が必要な収入の半分以下で、残りは親からの仕送りや借金などで賄っています。一方、支出は、年々生活費の割合が高くなっており、家や庭の建築・改修などは優先順位をつけて計画的に行っています。

させぼさんちでは、これまでも安全で快適な生活が送れるように、生活費の無駄をなくしたり、新しいパート先を探したりと、さまざまな方法でやりくりしてきましたが、今後は医療費や子どもへの仕送りなどの増加により、さらに家計は厳しくなると思われます。

こうしたことから、させぼさんちでは買い物をするときも、「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」という気持ちをさらに強くし、収入に見合った支出に心掛けながら、効果的・効率的なお金の使い方に努めていきたいと思っています。

収入		支出	
給料(市税)	137,000円	生活費	257,000円
パート収入(使用料など)	43,000円	食費(人件費)	(77,000円)
親からの仕送り(地方交付税など)	212,000円	医療費(扶助費 ^{*1})	(94,000円)
借金(市債)	20,000円	光熱水費など雑費(物件費 ^{*2} 、補助費など)	(51,000円)
貯金の取り崩し(基金繰入金)	8,000円	車などの修理代(維持補修費)	(3,000円)
繰越金(繰越金)	0円	教育費(教育費)	(32,000円)
		子どもへの仕送り(他会計への繰出金)	53,000円
		借金の返済(公債費)	61,000円
		家や庭の建築、改修(公共事業など)	28,000円
		貸し付けなど(貸付金など)	19,000円
		貯金(積立金)	2,000円
合計	420,000円	合計	420,000円
貯金残高	640,000円	借金残高	6,510,000円

*1 扶助費=生活保護、老人、障害者、保育、医療、介護など福祉関係の経費
*2 物件費=事業の委託料、臨時職員の賃金、旅費などの経費